

被災地の災害ボランティア活動に参加しました。

8月16日に、倉敷市真備町の災害ボランティアに参加しました。

私が同市災害ボランティアセンターから派遣された場所は、真備町箭田（ヤタ）地区でした。

活動場所は小田川支流の堤防決壊箇所から約100m北側の農家で、約3m浸水したとのことでした。

水害から1カ月半が経過しておりますが、周囲には浸水した畳や電化製品、家財道具などが山積みされた災害ゴミ集積場所がたくさん見られました。



ボランティアは5人1チームで活動しますが、私たちのチームは農機具倉庫とその周辺で、泥出しや器具の洗浄、ビニールハウスの鋼管フレームの折り曲げ作業などを行いました。

作業の休憩時間には、ご依頼主の住民から様々な体験談等をお聞きしました。

私は、その教訓を豊中市に防災体制の充実に反映させることを強く決意しております。

また、今後の復旧・復興に関する貴重なご意見もあり、そのことは石川参議院議員に直接お伝えしました。

(作業終了後、真備支所で泥まみれの同じチームのボランティアと)